

平成 29 年度熊本大学業務改善表彰（グランプリ）受賞

「全学放射線取扱者登録関係事務手続きフローの全面改訂による事務の効率化と省力化」

齋藤 希

工学部技術部 機器分析グループ（生命資源研究・支援センター）

1 概要

筆者は、日常の放射線管理業務の中で、教職員や学生が放射線を利用するための手続きが複雑なため、各部署における事務処理に遅れが生じ、教育研究に支障を来していることを発見した。そこで、教職員や学生のスムーズな利用を目的として、事務手続きフローの全面改訂を提案し、また、中心的な役割を担うシステム管理者を自身で担当することで実現した。その結果、平成 29 年度熊本大学業務改善表彰でグランプリを受賞した。



平成 29 年度業務改善表彰式（平成 29 年 11 月 13 日@事務局大会議室）

2 本学における放射線の取扱い

本学では、RI、エックス線装置及び学外の放射光施設を使った教育研究の他、附属病院で診療従事に当たり、放射線が利用されている。平成 29 年度の放射線取扱者総数は約 1500 人であり、年々増加傾向である。また、本学で放射線を取り扱うに当たり、放射線取扱者の登録をする必要がある。登録要件は、登録申請、教育訓練の受講及び健康診断の受診である。なお、放射線取扱者登録に係るデータは、すべて放射線取扱者個人管理システム（PMSR）で管理している。

3 放射線取扱者登録に係る問題点

- 登録手続きを所掌する部署は、次の通り全学に散在している。教職員及び学生にとって、どこに問合せしたら良いのか分かりづらく、また、問合せがたらい回しにされるという問題があった。

健康管理部局（保健センター、労務課、学務課）：健康診断の実施

放射線事務担当（教職員・学生が所属する部署）：登録手続きの担当

施設管理課 RI 担当：各部署の放射線事務の統括

管理部局：RI 施設等の放射線施設、表示付認証機器施設、エックス線施設の管理

- 複数の放射線事務担当が教職員に通知することで、通知確認時間の増大及び混乱が生じていた。
- 登録の遅延に伴い、教職員及び学生の教育研究に支障を来していた。
- 放射線事務担当者によって、健康診断の結果がでるまで、登録していなかった。
- 放射線事務担当者が窓口業務及びデータ登録作業を行うことによって、業務時間が増大していた。

- ・放射線事務担当者が交代することによる引継ぎの負担があった。
- ・業務が不慣れな時期に、放射線事務担当者がデータの入力ミスを多数してしまい、データベースの健全性が低下していた。
- ・放射線事務担当者によっては、放射線取扱者登録状況を部局長に決裁を執っていなかったため、本学のコンプライアンスが低下していた。
- ・Web 問診にあたり、対象者以外も受診できるよう設定されていたため、誤って受診することでエラーになり、労務課への問合せが増大していた。また、担当外の問合せによって負担が増加していた。
- ・RI 施設管理者は教職員、学生及び関係者に重複した内容を助言し、また、放射線事務担当のデータ登録を支援することで、業務の負担が生じていた。
- ・エラーデータの修正作業が増加していた他、システムの修復費用が増大していた。
- ・施設管理課 RI 担当者の交代による専門性の欠如等によって、各放射線事務担当、健康管理部局及び RI 施設との調整が不足していた。

4 改善点と効果

全学放射線取扱者登録関係事務手続きフローを全面改訂したことにより（図）、以下の改善につながった。

- ・問合せ窓口を RI 施設に一本化することで、教職員及び学生へのサービスが向上した。
RI 施設のみが問合せ対応をし、そこから関係部署に連絡調整を図ることで、問合せ時間が教職員及び学生全体（附属病院職員を除く約 840 人）で約 420 時間、削減できた。
- ・通知を施設管理課に一本化することで、通知の確認時間が教職員全体で約 50 時間、削減できた。
- ・RI 施設が窓口業務を担当したことに加え、筆者がシステム管理者として PMSR システムデータの登録業務を担当することで、放射線事務担当の業務の省力化につながった。これは、放射線事務担当全体で約 272 時間の負担減に相当する。さらに、引継ぎの負担軽減もできた。
- ・筆者が PMSR システムデータ更新をすべて担当することで、エラーデータがなくなり、データベースの健全性が維持・向上できた。
- ・筆者が登録完了通知及び放射線取扱者登録の決裁を、放射線事務担当に依頼することで全部局において部局長決裁が徹底され、本学のコンプライアンスの向上に繋がった。
- ・筆者が健康診断直後の受付データを活用し登録することで、登録までの時間が短縮し、教職員及び学生の教育研究に即応できた。
- ・筆者が Web 問診対象者のみ受診できるように、対象者を絞り込むことで誤受診がなくなった。その結果、労務課への問合せが減少し業務の負担軽減が図れた。

全学放射線取扱者登録関係事務手続きフロー

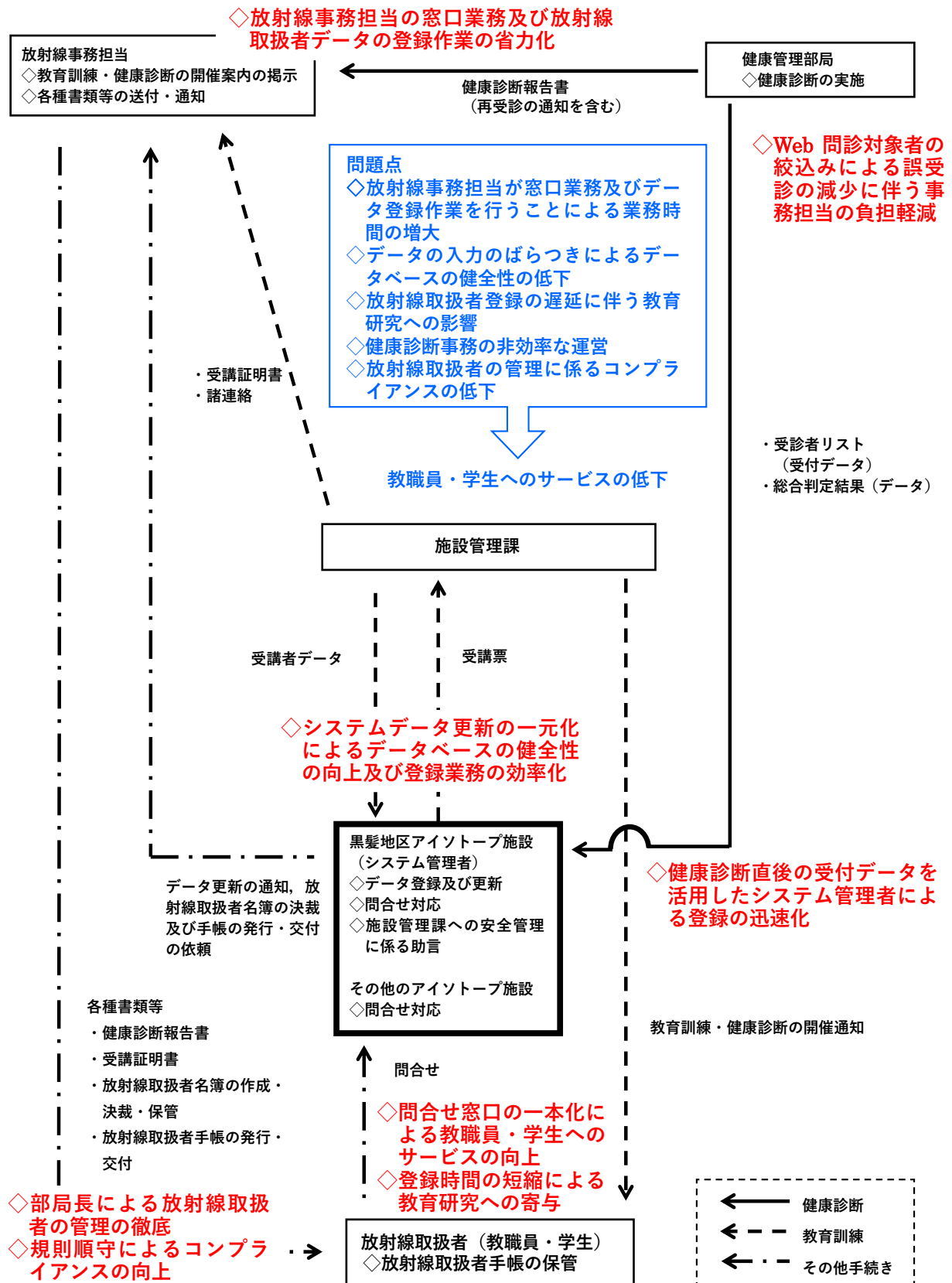


図 全面改訂した放射線取扱者登録関係事務手続きフロー